

社会貢献委員会 企業活動研究グループ ワークショップ実施報告

(愛知企画研修委員会共同開催) 担当：山口昇三・長谷川欽一

1. ワークショップの概要

① 日時：平成27年11月22日(日) 13:15～16:45 技術交流会17:00～19:25

② 場所：名城大学名駅サテライトMSAT・KDX名古屋駅前ビル13F多目的ホール

③ワークショップ講演概要

区分	テーマ	内容	発表者
13:15～ 13:20	主催者挨拶、本日の予定と進め方	総合司会 進行役 挨拶：愛知県支部支部長	前田 武光 山口昇三 水野朝夫
13:20～ 14:20	エネルギー問題を考える	COP21 を前に日本のエネルギーをめぐる現状と課題を整理し、将来を展望する	松田則雄
14:20～ 15:20	資源・エネルギー・環境の動向	大きなリスクと、考えられる対応例	櫻井止水城
15:20～ 15:35	休憩		
15:35～ 16:35	事例から学ぶ安全保障とリスクマネジメントと危機管理	エネルギー・安全問題におけるリスクマネジメントと危機管理の重要性解説	長谷川欽一
16:35～ 16:45	まとめ・連絡等	企業活動研究会の活動について	松田則雄
17:15～ 19:15	技術交流会		長谷川欽一

2. ワークショップの内容

総合司会の前田武光から概要説明、山口昇三幹事が進行役で実施された。水野支部長より愛知県支部の組織等の概要の説明が行われた。

上記3名の講演(別途資料参照)が行われ、以下の活発な質疑が行われた。

(松田則雄) 2次エネルギー利用の水素の未来は?化石燃料の枯渇を回避するには。再生可能エネルギーと核エネルギーの未来は。(櫻井止水城) 目標 GDP600兆円やTPPはどういう影響があるか。エネルギーコスト削減の方策は?海洋エネルギーや新エネルギーの今後は。(長谷川欽一) 日本全国で原発の廃棄物処理施設を都道府県に国から強制できるか。CO2の削減のための技術が思うように出来ていないのはなぜか。

3. 出席人数

出席者：24名(愛知県支部会員：講演者3名及び中部大学学生2名含む)

技術交流会出席者：12名(講演者3名含む)

4. アンケート結果・・・別紙参照

5. 執行した予算・・・別紙参照

(文責：長谷川欽一)

愛知県支部ワークショップアンケート集計結果

2015. 11. 22

アンケートにご協力お願いしました

(回答 16 人 / 出席 24 人中) ()内件数

いずれかに○を付けてください

<p>今回のテーマについて、どんな感想をお持ちになりましたか</p>	<p>(9)1. エネルギー、危機管理に対するリスクマネジメントにどう備えるかについて全体動向が理解でき参考になった。 (7)2. 一部はよく理解できた。 (0)3. 内容が多様でよく理解できなかった。 (0)4. どちらともいえない。</p>	<p>ご意見欄： エネルギー問題により関心を持つ必要を感じた。「エネルギー問題」について広範囲な内容のポイントを知ることができた。事々刻々と変わる話なのでぜひ続けてほしい。</p>
<p>最も興味をもたれたテーマはどれですか (重複 2 件あり)</p>	<p>(8)1 エネルギー問題の現状と課題 (9)2 資源・エネルギー・環境の動向 (7)3 事例から学ぶ安全保障とリスクマネジメントと危機管理</p>	<p>ご意見欄： 3 題とも興味を持ちました。資源・エネルギー・環境の現状脆弱性 (リスク対応) の具体的紹介が多面的に価値できる図表で説明され大変興味深かった。</p>
<p>発表内容についてどのように感じられましたか (未記入 2 件あり)</p>	<p>(12)1. レベルが高く内容にも満足できた (2)2. 全体的レベルはほどほどであった (0)3. 内容的に更なる充実を期待する</p>	<p>ご意見欄 これまでの技術士会のどの例会に比べてもレベルが高いと思います。</p>
<p>今回のテーマは、あなたの業務の役に立ちそうですか</p>	<p>(8)1. 大いに役立つ (6)2. 一部役立つ (2)3. 将来いつか役に立ちそう (0)4. ほとんど役に立たない</p>	<p>ご意見欄 これまでの技術的な知識であった内容を体系的にとらえられた。</p>
<p>今回のワークショップは会場、配付資料、運営など含め、総合的にいかがでしたか</p>	<p>(10)1. 満足 (6)2. 普通 (0)3. 不満</p>	<p>ご意見欄 実施報告の公表をしてほしい。 2.・3 番目のまとめを配布資料の中に入れてほしかった。</p>
<p>次回に希望されるテーマがありましたらご記入願います</p>	<p>・引き続き今回のテーマとしてください。・10年後、30年後の未来技術のあり方 (どうするのか、科学技術日本の歩み方)・水の利用に関する話題 (食料を一部含む)・実質的な水の輸入国という事実とそのリスク管理。・テーマが大きすぎる感もあるのでもう少し細分化して数回にわたり開催してみてもどうか。 ・COP21 のような世界の締約国会議の内容について徹底的に議論するという企画はいかがでしょうか。開催時期とずらす必要があるかもしれません。</p>	

ご協力ありがとうございました。また次回にお会いしましょう。